

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年9月2日(2021.9.2)

【公表番号】特表2020-529793(P2020-529793A)

【公表日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2020-041

【出願番号】特願2020-506792(P2020-506792)

【国際特許分類】

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

H 0 4 W 80/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 28/06

H 0 4 W 80/02

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月21日(2021.7.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信のための方法であって、

無線リンク制御RLCレイヤにおいて下位層からプロトコルデータユニットPDUを受信するステップと、

RLCサービスデータユニットSDUセグメントに関連するシーケンス番号に対応する指示に少なくとも部分的に基づいて、前記PDUが前記RLC SDUセグメントであることを特定するステップと、

すでに受信されたPDUまたはすでに受信されたRLC SDUセグメントに少なくとも部分的に基づいて、前記RLC SDUセグメントが順が狂って受信されたと判定するステップと、

前記RLC SDUセグメントが順が狂って受信されたとの判定に少なくとも部分的に基づいてリアセンブリタイマーを起動するステップとを含む、

方法。

【請求項2】

受信バッファに記憶されている1つまたは複数のRLC SDUセグメントが正しい順序になっていないと判定するステップであって、前記リアセンブリタイマーが、前記受信バッファに記憶されている1つまたは複数のSDUセグメントが正しい順序になっていないとの判定に少なくとも部分的に基づいて、起動される、ステップをさらに含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記RLC SDUセグメントが順が狂って受信されたと判定するステップは、

前記受信されたRLC SDUセグメントおよび前記すでに受信されたPDUまたはすでに受信されたRLC SDUセグメントに少なくとも部分的に基づいて、RLC SDUの欠落したRLC SDUセグメントを特定するステップを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記RLC SDUセグメントの前記欠落したRLC SDUセグメントを特定するステップは、

前記すでに受信されたPDU間またはすでに受信されたRLC SDUセグメント間のギャップを

特定するステップを含む、
請求項3に記載の方法。

【請求項 5】

前記欠落したRLC SDUセグメントは、前記RLC SDUの第1のバイトを含み、
前記受信されたRLC SDUセグメントは、前記第1のバイトに続く第2のバイトまたは前記RLC SDUの最後のバイトを含み、

前記受信されたRLC SDUセグメントは、対応するシーケンス番号を含まない、
請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

前記欠落したRLC SDUセグメントは、第1のシーケンス番号に関連付けられ、
前記受信されたRLC SDUセグメントに関連する前記シーケンス番号は、前記第1のシーケンス番号よりも大きい、
請求項4に記載の方法。

【請求項 7】

前記RLC SDUセグメントに関連する前記シーケンス番号が、前記すでに受信されたPDUまたはすでに受信されたRLC SDUセグメントに関連する最大シーケンス番号よりも大きいと判定するステップと、

前記最大シーケンス番号に対応する変数の値を前記RLC SDUセグメントに関連する前記シーケンス番号によって更新するステップとをさらに含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

最大リアセンブル後シーケンス番号の後の最大未アセンブルシーケンス番号に少なくとも部分的に基づいて変数の値を更新するステップをさらに含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項 9】

前記シーケンス番号に対応する前記指示は、前記RLC SDUセグメントのヘッダにおける前記シーケンス番号を示す値または前記RLC SDUセグメントの前記ヘッダにおけるセグメント化識別子を含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

前記リアセンブリタイマーに少なくとも部分的に基づいて、前記RLC SDUセグメントおよび1つまたは複数のすでに受信されたSDUセグメントを含む1つまたは複数のSDUのリアセンブリを実行するステップをさらに含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項 11】

前記リアセンブリタイマーに関連するシーケンス番号に対応する1つまたは複数のSDUのリアセンブリを実行するステップであって、前記起動されるリアセンブリタイマーが、前記シーケンス番号に対応する、ステップと、

前記リアセンブリタイマーがしきい値を超えたことに少なくとも部分的に基づいて、前記シーケンス番号に関連する前記RLC SDUセグメントを破棄するステップとをさらに含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

前記リアセンブリタイマーを起動する際に設定された最大リアセンブル後シーケンス番号の後の最大未アセンブルシーケンス番号に対応する変数の値に少なくとも部分的に基づいて、前記リアセンブリタイマーの満了時に受信バッファに記憶されている1つまたは複数の未アセンブルRLC SDUセグメントを破棄するステップをさらに含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項 13】

前記受信バッファに残存する1つまたは複数のRLC SDUセグメントの順が狂っているとの

判定に少なくとも部分的に基づいて、前記リアセンブリタイマーを再始動するステップをさらに含む、

請求項12に記載の方法。

【請求項14】

ワイヤレス通信のための装置であって、

無線リンク制御RLCレイヤにおいて下位層からプロトコルデータユニットPDUを受信する手段と、

RLCサービスデータユニットSDUセグメントに関連するシーケンス番号に対応する指示に少なくとも部分的に基づいて前記PDUが前記RLC SDUセグメントであることを特定する手段と、

すでに受信されたPDUまたはすでに受信されたRLC SDUセグメントに少なくとも部分的に基づいて前記RLC SDUセグメントが順が狂って受信されたと判定する手段と、

前記RLC SDUセグメントが順が狂って受信されたとの判定に少なくとも部分的に基づいてリアセンブリタイマーを起動する手段とを備える、

装置。

【請求項15】

ワイヤレス通信のためのコンピュータ可読記憶媒体であって、前記コンピュータ可読記憶媒体は、プロセッサに、請求項1～13のいずれか一項に記載の方法を実行させる実行可能な命令を含む、コンピュータ可読記憶媒体。